

日刊 勤労千葉

87. 1. 19

No. 2455

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

切り抜いた勝利への 突破口を確信をもつ てばく進しよう

成田支部 森内 猛

わが勤労千葉は、国鉄分割・民営化！十万人首切り攻撃に対し、一昨春秋以来二波のスト、数波の順法闘争を闘い、いま職場・生産点で当局の差別・選別の攻撃と対決し闘いぬいている。

これらの闘いは、分割・民営化を推進し国鉄労働運動を解体せんとしている中曾根と杉浦に大きな打撃を与え、かつ全国の労働者に闘いへの決起を訴えるものであった。

国鉄分割・民営化の攻撃に直面し苦闘している多くの国鉄労働者は、うっ積した怒りを爆発させ、裏切り者・動労革マルや大担妥協方針の国労右派と対決し昨年十月の国労臨大で山崎旧執行部を打倒し、そして高崎と水戸では、ついに七年間の動労革マルの制圧をけやぶって独立し、その結果動労総連合の誕生をかちとる偉大な勝利を切りひらいたのである。

87決戦の年を迎えて

まさに中曾根は追いつめられている。全国の闘う国鉄労働者が動労総連合と国労共闘に結集し、分割・民営化断固阻止の闘いを一・三月の決戦期に全国の職場で爆発させ、裏切り者・動労革マルを追放一掃し、分割・民営化の中曾根を打倒しよう。

そして、四月統一地方選においては、組織内候補中江氏と二期阻止の絶対的闘いでもある成田市議選・北原氏をはじめとする全ての推薦候補の必勝かちとろう。成田支部は、全ての闘う労働者人民と共に最後の勝利まで闘うことを決意する。

このような時こそ 労働運動の真価が 問われる

佐倉支部 宮内正志

八七年は、私たち国鉄労働者にとって今年こそ最重要な年です。昨年十一月二八日、国鉄分割・民営化関連八法案が「成立」したとはいえ、問題は全く結着はついていない。それどころか、赤字の元凶といわれる新幹線、またぞろ整備新幹線の着工を行うための予算をつけるなど、矛盾が増大しているのではないかと、ましてや、今年も年頭から石炭・造船

支部長の決意 3

・鉄鋼・自動車・電機など、日本帝国主義の基幹産業を中心に倒産の危機すらあるのではないか。まさに中曾根は危機をますます深めているのです。

こうした時こそ労働運動の真価が問われる時期であり、階級的労働運動をめざして闘わなければなりません。

八七春闘も、労働者の要求を、労働組合自らベアの要求をしないというような鉄鋼労連をみるまでもなく、こうした政府・資本の危機を救済する帝国主義労働運動のなからさえ、今日では労働者の抵抗・反乱が開始されつつあります。

また、中曾根は八七年度予算で、軍費の国民総生産（GNP）比一％突破を決定し、日本資本主義体制の危機を、戦争によって「突破」する軍事大国化への道を公然と突き進んでいる。こうした事態は、中曾根の強さでは決してなく、むしろ、弱点であり、焦り以外の何ものでもない。

すでに、国鉄分割・民営化攻撃に国鉄労働運動つぶしも破綻し、政府・国鉄当局のくるむ「四月一日に一企業一組合にする」ことは、すでに破綻し、断念せざるをえなくなっているのではないかと。そうした意味では、昨年の勤労千葉の闘いの勝利、その中で勝ちとられた動労総連合の結成！拡大を中心として分割・民営化に十万人首切り粉碎にむけて、その先頭で闘いぬく決意です。

ありがとうございます。がんばります！



旗幟きよせられた各界からのメッセージ。ご祝儀他②

（順不同・敬称略） 部落解放同盟荒本支部・瀬川 博、千葉県労働者福祉協議会、国労共闘九州、国労長崎県支部有志、8・9長崎反戦斗争実行委員会・伊藤鉄東、全金本山労組、動労仙台有志、東京東部労組、婦人民主クラブ全国協、船橋市民の会、神奈川支援共闘、国労八王子有志、全通国際（元全通空港支部、国労横浜有志、国労千葉有志、千葉県反戦、動労連帯高崎、動労水戸、東大塚習林職組、国労大阪有志、労組連、東京実行委、埼玉支援連、杉並革新連盟、八王子看護、三多戸連絡会、全関西実行委、泉州住民の会、東大分院職組、三里塚芝山連合空港反対同盟、同青行隊、明治大学生協労組、原詩人、習志野市職有志、沖縄民権の会古波津英興、山谷統一労組、全通芝総分会、東交有志、TEC労組有志、全労災千葉、県会議員山村実、同松本正二、千葉県労連、破防法研究、船橋市議中江昌夫、県会議員市川福平、千葉市議小川義人、反軍通信、東京南部実行委、婦人民主クラブ相模原支部、映画監督宮島義典、同スタッフ、勤労千葉各支部、つらひに各分科会、（以上）

成功させよう！本部家族会結成も！
家族会総会
とき：1月25日(日)13時
とこ：労働者福祉センター